



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 マックスバリュ東海株式会社

コード番号 8198 URL <http://www.mv-tokai.com/company/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神尾 啓治

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 高橋 誠

TEL 055-989-5050

四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	155,305	3.2	1,607	10.5	1,722	14.3	627	△1.4
26年2月期第3四半期	150,549	—	1,454	—	1,506	—	636	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 512百万円 (△29.2%) 26年2月期第3四半期 723百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	35.30	35.24
26年2月期第3四半期	35.82	35.76

(注) 平成26年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年2月期第3四半期	71,918		41,344		57.1	
26年2月期	66,533		41,460		61.7	

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 41,061百万円 26年2月期 41,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	36.00	36.00
27年2月期	—	0.00	—		
27年2月期(予想)				36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	211,440	4.8	3,570	11.1	3,500	7.7	1,340	△15.0	75.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	17,883,300 株	26年2月期	17,883,300 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	103,228 株	26年2月期	115,128 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	17,773,953 株	26年2月期3Q	17,765,108 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済対策や日本銀行の金融緩和策を背景として、企業収益の改善が緩やかに進み、雇用情勢も回復の兆しがみられております。その一方、消費増税後の節約志向の高まりや円安の進行による輸入商品価格の上昇などにより、個人消費は落ち込みをみせており、景気の先行きはより不透明な状況となっております。食品スーパーマーケット業界におきましても、生活必需品に対する家計の節約や低価格志向が続いていることに加え、競争激化による低価格化の進行や消費二極化の動き、さらにはコンビニエンスストアやドラッグストアなどの業種・業態を越えた競争もより一層顕著になりつつあり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは、当連結会計年度のスローガンに「地域密着経営の実践 お客さまのために 自ら考え、自らやり遂げよう！」を掲げ、お客さまに「食べるコトの喜び」を提供する地域No. 1のスーパーマーケット作りに向けて、環境変化に対応したMD（マーチャンダイジング）の構築、ローコスト経営の実践、地域シェアNo. 1を実現するエリア・業態戦略の推進と収益モデル構築などの経営課題に取り組んでおります。

(国内事業)

店舗展開におきましては、上半期において株式会社グルメシティ関東から2店舗、イオンエブリ株式会社から4店舗の計6店舗を譲り受けるとともに7月にはマックスバリュ伊豆高原店（静岡県伊東市）を開設したことに加え、9月の山梨県におけるザ・ビッグ3店舗、10月の静岡市でのザ・ビッグ1店舗及び11月のマックスバリュエクスプレス清水追分店（静岡市清水区）の開設を行いました。その一方でマックスバリュエクスプレス清水追分店は、「わたしにうれしい とっても便利なお店」をコンセプトとした小型店舗であり、忙しい毎日を応援するためショートタイムショッピングを目的とした売場構成や小容量商品の拡充、公共料金などの料金収納代行サービスの導入など、コンビニエンスストアを意識した新しいタイプの店舗作りを目指しております。そのほか、単身・シニア世帯の増加や消費の二極化の動きに対応すべく、既存店の活性化にも積極的に取り組んでおります。また、経営効率化を進めるべく2店舗の閉鎖を行いました。これらにより、国内事業における店舗数は、ザ・ビッグ21店舗を含めて138店舗となりました。

販売面におきましては、消費増税後の節約志向の高まりに対し、お客さまの利便性向上と固定客づくりを推進するため、WAONカード会員拡大キャンペーンを実施し、同カードを基軸とした販促企画の強化に取り組みました。また、お客さまのライフスタイルの変化に対応すべく、小容量商品の品揃えの充実や、「じもの日」の展開による地域商品の拡大を図るとともに惣菜を始めとして、フローズン（冷凍食品）・レディミール（調理済食品）の品揃えの充実にも取り組んでまいりました。

(中国事業)

中国事業におきましては、4月のマックスバリュ鉞頓城店（中国広東省佛山市）に続き、10月に3号店となるマックスバリュ兆陽広場店（中国広東省佛山市）を開設しました。これら店舗において、今後の多店舗展開に向けたノウハウの蓄積を進めるとともに、曜日市や週末における販促の強化、さらには10元均一企画による買上点数の向上などの売上対策に取り組むほか、パートタイマー比率の引き上げなど、コスト構造の見直しにも着手し、早期軌道化に向けた取り組みを強化しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,553億5百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益16億7百万円（同10.5%増）、経常利益17億22百万円（同14.3%増）、四半期純利益6億27百万円（同1.4%減）となりました。また、個別業績は、営業収益1,539億83百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益19億8百万円（同7.4%増）、経常利益20億17百万円（同10.1%増）、四半期純利益8億4百万円（同10.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比し、53億84百万円増加し、719億18百万円になりました。これは、現金及び預金の増加22億95百万円、商品の増加7億99百万円、土地の増加3億72百万円などによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比し、55億円増加し、305億74百万円になりました。これは、金融機関の休業日による決済日のずれや季節的要因などによる買掛金の増加33億16百万円などによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比し、1億16百万円減少し、413億44百万円になりました。これは、剰余金の配当による減少6億39百万円、四半期純利益の計上6億27百万円、少数株主持分の減少1億16百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年2月期の通期の業績予想につきましては、2014年4月8日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,043,002	7,338,950
売掛金	50,306	51,432
商品	4,476,722	5,275,882
繰延税金資産	445,659	749,904
関係会社預け金	4,240,000	4,600,000
その他	3,869,608	5,252,711
流動資産合計	18,125,298	23,268,881
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	18,424,348	18,272,363
土地	13,783,108	14,155,111
その他(純額)	5,453,297	5,661,394
有形固定資産合計	37,660,753	38,088,870
無形固定資産		
のれん	1,078,628	935,723
その他	249,572	245,952
無形固定資産合計	1,328,200	1,181,676
投資その他の資産		
差入保証金	4,788,001	4,760,119
繰延税金資産	3,381,943	3,312,199
その他	1,297,703	1,342,659
貸倒引当金	△47,938	△35,579
投資その他の資産合計	9,419,709	9,379,398
固定資産合計	48,408,664	48,649,945
資産合計	66,533,962	71,918,826
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,543,347	14,859,681
1年内返済予定の長期借入金	258,796	258,796
未払法人税等	887,034	692,722
賞与引当金	570,821	101,529
役員業績報酬引当金	18,239	18,420
店舗閉鎖損失引当金	6,688	—
ポイント引当金	3,086	8,966
その他	4,162,026	7,261,424
流動負債合計	17,450,040	23,201,541
固定負債		
長期借入金	400,280	206,183
退職給付引当金	4,034,669	4,036,653
商品券回収損失引当金	14,380	10,021
資産除去債務	1,342,389	1,413,244
その他	1,832,015	1,707,061
固定負債合計	7,623,735	7,373,164
負債合計	25,073,775	30,574,705

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,267,850	2,267,850
資本剰余金	3,382,389	3,382,389
利益剰余金	35,421,778	35,408,177
自己株式	△135,386	△121,473
株主資本合計	40,936,631	40,936,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	—
為替換算調整勘定	122,480	124,521
その他の包括利益累計額合計	122,499	124,521
新株予約権	29,080	27,664
少数株主持分	371,975	254,992
純資産合計	41,460,187	41,344,121
負債純資産合計	66,533,962	71,918,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
売上高	147,880,532	152,269,894
売上原価	111,359,097	115,248,881
売上総利益	36,521,435	37,021,012
その他の営業収入	2,668,723	3,035,132
営業総利益	39,190,158	40,056,144
販売費及び一般管理費	37,735,282	38,448,244
営業利益	1,454,875	1,607,900
営業外収益		
受取利息	27,814	30,695
受取配当金	1,951	14
為替差益	—	88,156
ポイント失効益	34,339	—
雑収入	61,493	68,757
営業外収益合計	125,598	187,623
営業外費用		
支払利息	53,258	49,192
支払補償費	2,177	13,572
雑損失	18,627	10,626
営業外費用合計	74,063	73,391
経常利益	1,506,411	1,722,133
特別利益		
固定資産売却益	5,039	—
特別利益合計	5,039	—
特別損失		
固定資産除却損	66,258	2,778
減損損失	166,908	275,004
中途解約金	146,978	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,506	8,000
その他	32,770	13
特別損失合計	418,421	285,797
税金等調整前四半期純利益	1,093,028	1,436,335
法人税、住民税及び事業税	760,616	1,161,787
法人税等調整額	△238,491	△234,497
法人税等合計	522,124	927,289
少数株主損益調整前四半期純利益	570,904	509,045
少数株主損失(△)	△65,425	△118,344
四半期純利益	636,330	627,390

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	570,904	509,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,345	△18
為替換算調整勘定	126,269	3,401
その他の包括利益合計	152,615	3,382
四半期包括利益	723,519	512,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	763,691	629,412
少数株主に係る四半期包括利益	△40,171	△116,983

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。